

# 遠方への通院をしなければならない市民に交通費の補助を

他自治体の取り組み状況も参考に調査・研究をしていく



大木 絵理 議員



請も対応していく。

**Q** 市内で受診できる医療機関がなく、遠方への通院が必要となる方に対する交通費の補助について市の考えは？

**A** 「重度障害者タクシー運賃及び自動車燃料費助成事業」「人工透析患者通院交通費補助事業」を実施している。交通費の補助を今後調査研究していく。

**Q** 小中学校の常設・特設クラブにおける廃部、活動縮小状況は？

**A** ※表参照

**Q** 教員の多忙化解消は大切だが、それを理由に廃部や活動縮小になった子どもたちの思いをそのままにせず、民間との連携を図りながら特設クラブの運営を検討するべきだと思いが教育長の考えは？

**A** 小学校の特設クラブの在り方について教育委員会としても議論していく。

過去3年間の廃部状況		
	クラブ・部名	理由
小学校3校	特設合唱、楽器、陸上など 計5つ	部員減少 多忙化解消
中学校2校	ソフトボール部、バスケットボール部	部員減少
過去3年間の活動縮小状況		
小学校2校	特設合唱……審査対象外 特設陸上部……参加種目を絞る	

**Q** 新規事業である不妊治療費助成事業について伺う。

**A** 県の助成額に上乗せとして各治療に県の半額を上限として助成する。不妊症検査は県と同額の3万円を上限とする。さらに通院費として一回あたり2千円の助成を行う。郵送による申請も対応していく。

# 予算編成における事業の優先順位はどのように決められるのか

担当課で市民の声を把握し、必要な事業を立案・予算要求。査定で多角的な視点で議論



深谷 弘 議員



**Q** 予算編成は、各部署からの要求をもとに財政課で集約・調整された予算案(素案)を、総務部長及び市長が査定し、予算案が決定されると理解している。しかし、私が提案する学校給食費無料化について、どのように議論されたのか質問

**A** 歳入規模を把握し、財源を有効活用するため「選択と集中」を図るべき「重点項目」などを示した「予算編成方針」を定める。各担当課では、常日頃から社会情勢・国県の動向・市民の声を把握し、ニーズや課題を的確に捉えて必要な事業を企画立案し、「予算編成方針」に留意し予算要求する。査定の場で多角的な視点で議論を重ね、事業の必要性や効果、適時性や緊急性、他の事業との関連性、将来の財政負担などを検討し優先順位を判断している。

**Q** 教育費については、どのように予算要求し優先順位を決めているのか。

**A** 市の総合的な方向性に従って、優先順位をつけている。



## 人事案件

議会の同意を得るために、3月定例会に以下の案件が提出され、全て同意されました。案件等を紹介します。

### ○地方自治法第162条に基づき、同意を求める。

副市長(新任) 井上賢二氏【59歳】(白河市北堀切)  
任期 4年(令和6年4月1日～令和10年3月31日)

### ○地方自治法第196条第1項に基づき、同意を求める。

監査委員(再任) 片山拓央氏【50歳】(白河市天神町)  
任期 4年(令和6年4月1日～令和10年3月31日)

### ○人権擁護委員法第6条第3項に基づき、法務大臣へ推薦することに同意を求める。

人権擁護委員(再任) 塩田英夫氏【71歳】(白河市大信中新城)  
任期 3年(令和6年7月1日～令和9年6月30日)

### ●黙とうを捧げました。

- 令和6.1.1能登半島地震発生
- 3.11東日本大震災から13年以上、2件の事案に対して3月定例会開会日(2月28日)に犠牲となり、亡くなられた多くの方々に対して、哀悼の意を表し黙とうを捧げました。

### ●令和6年

#### 能登半島地震義援金

令和6年元日に発生した能登半島地震に対して、白河市議会は1月30日に「北信越市議会議長会」へ10万円を贈りました。